



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 289  
April  
2017

## トピックス

### 国際会議への参加

APEC防災作業部会への参加

### Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

© ADRC 2017

### ●国際会議への参加 APEC防災作業部会への参加

APEC防災作業部会第11回会合が2月18日及び19日にベトナムのニャチャンで開催されました。

開催地ベトナム農業・農村開発省水資源総局ホアイ次長の開会の辞、及び同省カン・ホア州レ・タン・バン農業・農村開発局長から歓迎の辞がありました。アジア防災センター（ADRC）からは所長が共同議長として出席し、もう一人のレ・クアン・チュアン共同議長（ベトナム農業・農村開発省）とともに冒頭、挨拶をしました。昨年の開催地、ペルーからは、水害のため出席は出来ませんでしたが、国家防災庁のロザダ長官によるビデオメッセージがありました。

今回はホスト・エコノミーのベトナムの提案で、気候変動等の新たな現実に向きあってゆくため、「ニュー・ノーマルを生きる先端科学技術」と題して、ホアイ水資源総局次長及びヴァン・フー・チン防災局長がモデレーター役を務め、9月にヴィンで開催が予定されているシニアレベル防災フォーラム（SDMOF）に向けた重要テーマや、同国で関心の高い海岸デルタ地域のレジリエンスについて、農業・農村振興省から発表があった他、防災に関わる多数の省庁からの発表がありました。また、先端科学技術の防災への活用について、シンガポール、チャイニーズ・タイペイ、フィリピン、中国、インドネシアからインプットがあり、続いて、アジア災害予防センター（ADPC）、太平洋災害センター（PDC）、国際連合世界食糧計画（WFP）、日本の国際協力機構（JICA）、さらに、香港ロータリークラブからも発表がありました。

続いて、昨年秋よりウェブで調整してきた今年の作業計画、及び今後4年間の戦略計画が決定されました。また、メキシコから、5月にカンクンで開催予定のGlobal Platform for Disaster Risk Reductionについて紹介がありました。この他、最近のプロジェクト、各エコノミーの最近の災害及び災害対策に関するアップデートが続きました。

ADRCからは、昨年実施した津波ワークショップについての最終報告とともに、熊本地震のフォローアップとして、日本とADRC中心に行った現地視察についても報告しました。また、今年、ベトナムと日本を中心に実施するAPECプロジェクト「地方部インフラのビルドバックベター」の実施計画について報告し意見を募りました。

なお、これを踏まえ、3月13日及び14日に、神戸においてベトナムと日本により、同プロジェクトのキックオフ会合を開催し、APEC地域にとってのインフラのビルドバックベターのコンセプトや事例について議論を深めました。この機会に、一行は国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所を訪れ、同省のテレビ会議システムの説明を受け実際に東京と意見交換をした後、焼ヶ原堰堤を視察しました。また、2日目には兵庫県庁を訪れ防災センターを視察し、阪神・淡路大震災からの復興についても意見交換しました。

8月行われる次回の防災作業部会会合では、本プロジェクトの進捗を報告します。



### 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。